付属証明書

A. ラッカー、B. 合成樹脂溶剤系塗料、C. 合成樹脂水系塗料、
D. 路面表示用塗料、E. その他塗料（油性塗料)、F. 建築用塗料、
G. 家庭用塗料、H. 粉体塗料、I. 日本塗料工業会規格に該当する塗料、
K. JIS 規定外の塗料および工業会塗料
（J.自動車補修用塗料は別紙）

申込日：平成　　年　　月　　日

申込ブランド名	
申込者	（会社名） 印（社印を捺印）

＜付属証明書の作成方法＞

1．申込製品に関する必要事項を「記入欄」に記載して下さい。
「記入欄」に網かけがある「項目」は記入不要です。

2．「添付証明書」欄の各証明書を用意して下さい。各証明書は、本付属証明書と併せてエコマーク商品認定・使用申込時に提出して下さい。
「添付証明書」に網かけのある「項目」は、添付証明書の提出は不要です。

3．各証明書の作成は（記入例）を参照して下さい。

4．「添付証明書」の作成は「添付証明書の発行者」欄を確認して下さい。

項目	記入欄	添付証明書	添付証明書の発行者
申込商品の分類	対象　□A、□B、□C、□D、□E、□F、□G、□H、□I、□K 該当品質規格 □JIS　□JASS　□その他 規格番号 （　　） (該当する事項をチェックして下さい)	商品のパンフレットなど	申込者
製品を開発した会社	□他社　□自社 (該当する事項をチェックして下さい)	他社開発製品の場合、申込承諾書（記入例 1）	塗料製造事業者
契約更新に伴う再審査の場合	既認定番号（　　）		申込者

他社などで既に認定を受けている商品を別ブランドとして申込む場合	ブランド名以外の変更が　□ある／□ない （該当する事項をチェックして下さい） （ブランド名以外変更がなければ、以下の項目の証明は不要です）	エコマーク商品認定審査結果通知書の写し 既認定型式と本申込製品の型式との対応表 変更点についての認定基準に対する証明書（変更がある場合）	
購買材料の評価の実施		ISO9001:2000 の写しなど　または （記入例 2）	塗料製造事業者

4-1 環境に関する共通認定基準

項目	記入欄	添付証明書	添付証明書の発行者
4−1.(1)(2) 塗装現場における希釈の有無	□　塗装現場で希釈するタイプ □　塗装現場で希釈するタイプではない	塗装現場で希釈するタイプは、推奨溶剤、希釈率の表示部分（取扱い説明書、製品ラベル、パンフレットなど）	塗料製造事業者または申込者
4−1.(1) 塗料中の芳香族炭化水素系溶剤の量	□溶剤系塗料 □水系塗料 ├→ □エマルション塗料 │ └→ □その他 □上記以外 塗料中の芳香族炭化水素系溶剤の量 (　　g/リットル *) *ただし、希釈タイプは推奨の溶剤(　　)を使用し、希釈率(　　%)の値 塗料のタイプ　□１液１粉型 □多液型 □上記以外 (該当する事項をチェックして下さい)	塗料成分表（記入表 A）または試験結果（多液型は各液の値と混合比で計算した結果）	塗料製造事業者または自社、第三者試験機関など

4−1.(2) 塗料中の VOC 成分	□内装専用、内外装用(V1) □外装用 ├→□溶剤系 └→□水系(V2) □上記以外の塗料 VOC 成分の量 (　　g/リットル *) *ただし、希釈タイプは推奨の 溶剤(　　)を使用し、 希釈率(　　%)の値 塗料のタイプ　□１液１粉型 □多液型 □上記以外 (該当する事項をチェックして下さい)	塗料成分表（記入表 A）または試験結果(多液型は各液の値と混合比で計算した結果)	塗料製造事業者または自社、第三者試験機関など
4−1.(3) 防腐剤(防かび剤を含む)の使用	防腐剤（防かび剤を含む）の使用 └→□使用あり　　□なし └→（含有量　　%） (該当する事項をチェックして下さい) No.126「塗料 Version1」で既に認定を受けている製品の再審査の場合 前回（既認定）審査時に提出した内容と □変更なし／□変更あり ※変更がない場合には、右記証明書は提出不要です。	「使用あり」の場合防腐剤の MSDS、化学物質名、CAS No.	薬剤供給事業者 または 塗料製造事業者
4−1.(4) 表 4 に示す化学物質の使用	No.126「塗料 Version1」で既に認定を受けている製品の再審査の場合 前回（既認定）審査時に提出した内容と □変更なし／□変更あり ※変更がない場合には、右記証明書は提出不要です。	該当物質の添加有無記載リスト（記入例 3）	申込者 または 塗料製造事業者
4−1.(5) ホルムアルデヒド	□国土交通省のホルムアルデヒド規制の告示対象の塗料	JIS 試験結果または F☆☆☆☆等級の証明書または規制対象外とみなす旨の大臣認定書	自社、第三者試験機関など
	□国土交通省のホルムアルデヒド規制の告示対象外の塗料のため適用外 □H.粉体塗料のため適用外 (該当する事項をチェックして下さい)		

4－1.(5) ホルムアルデヒド	No.126「塗料 Version1」で既に認定を受けている製品の再審査の場合 前回（既認定）審査時に提出した内容と □変更なし／□変更あり ※変更がない場合には、証明書は提出不要です。		
4－1.(6) ハロゲン化炭化水素類	No.126「塗料 Version1」で既に認定を受けている製品の再審査の場合 前回（既認定）審査時に提出した内容と □変更なし／□変更あり ※変更がない場合には、右記証明書は提出不要です。	証明書（記入例 4）	最終製造工場の工場長
4－1.(7) PRTR 第一種指定化学物質の使用の有無	□添加あり　／□なし (該当する事項をチェックして下さい) No.126「塗料 Version1」で既に認定を受けている製品の再審査の場合 前回（既認定）審査時に提出した内容と □変更なし／□変更あり ※変更がない場合には、右記証明書は提出不要です。	「添加あり」の場合該当物質の添加の有無記載リスト（記入例 5）	塗料製造事業者
4－1.(8) 環境法規 4－1.(9) 毒劇法、化審法		証明書（記入例 6）	最終製造工場の工場長
4－1.(10) 塗料の適正な取扱いに関する情報		MSDS　必須 取扱説明書 製品ラベル　いずれか パンフレット	申込者
4－1.(11) 容器	□無鉛金属缶 □その他の包装 材質（　　） 包装方法 （　　） □本項目の対象外（粉体塗料など） (該当する事項をチェックして下さい)		申込者

4-2 環境に関する個別認定基準

項目	記入欄	添付証明書	添付証明書の発行者
4－2.(12) 再生材料の使用	□B．JIS K 5516、JIS K 5572 □F．JIS A 6916 □H．粉体塗料 ├→再生材料名：(　　) └→製品全体の重量における再生材料の重量割合：(　　%) □上記以外の塗料のため適用外 (該当する事項をチェックして下さい) No.126「塗料 Version1」で既に認定を受けている製品の再審査の場合 前回（既認定）審査時に提出した内容と □変更なし／□変更あり ※変更がない場合には、右記証明書は提出不要です。	該当の塗料の場合 原料証明書 （記入例 7）	再生材料供給事業者
4－2.(13) 塗装時の異常な臭気や刺激臭への配慮	□G．家庭用塗料 └→塗料の臭気指数（　　） □上記以外の塗料のため適用外 (該当する事項をチェックして下さい) No.126「塗料 Version1」で既に認定を受けている製品の再審査の場合 前回（既認定）審査時に提出した内容と □変更なし／□変更あり ※変更がない場合には、右記証明書は提出不要です。	G.に該当する塗料の場合 臭気指数の製品への表示箇所および表示内容の提出（エコマークの近傍に表記）	申込者
4－2.(14) 化学物質の管理	□G．家庭用塗料 └→ユーザからの要求に応じて MSDS を □提供可能　□提供不可能 □上記以外の塗料のため適用外 (該当する事項をチェックして下さい) No.126「塗料 Version1」で既に認定を受けている製品の再審査の場合 前回（既認定）審査時に提出した内容と □変更なし／□変更あり ※変更がない場合には、右記証明書は提出不要です。		

4-3 品質に関する認定基準

項目	記入欄	提出書類	証明主体
4－3.(15) 製品の品質 (H.粉体塗料以外)	No.126「塗料 Version1」で既に認定を受けている製品の再審査の場合 前回（既認定）審査時に提出した内容と □変更なし／□変更あり ※変更がない場合には、右記証明書は提出不要です。	該当する品質規格に適合していることの証明書および（記入例 8） または JIS 認定工場の写し 該当する JIS 規格がない場合は性能証明書および（記入例 8）	最終製造工場の工場長
4－3.(16) H.粉体塗料の品質	□熱硬化系粉体塗料 □熱可塑性粉体塗料 □上記以外の塗料 (該当する事項をチェックして下さい)	該当する場合、試験結果 （記入例 9）	自社、第三者試験機関など

5.商品区分、その他

項目	添付証明書	添付証明書の発行者
エコマーク表示有無（予定）	□ある □製品／□包装／□カタログ･リーフレット □取扱説明書／□その他（　　） □なし（表示する場合は表示設計図の提出が必須です） （該当する事項をチェックして下さい。ある場合は、以下の表示予定設計図をご提出ください。）	申込者
エコマーク使用規定第3条 エコマーク表示予定箇所、マーク下段の環境情報表示	表示予定設計図の提出（書式自由･原稿）	
エコマーク使用規定第7条 エコマーク使用契約者名、認定番号の表示		

記入例 1

２００×年×月×日

財団法人　日本環境協会
　エコマーク事務局長　殿

本証明書の発行日

○　○株式会社　社 印
(角印)

証明書
発行者名

申込承諾書

当社（エコマーク認定）ブランド名（　　）（認定番号（認定品のみ））を、（申込企業）がブランド名（　　）として、エコマーク商品認定・使用申込を行うことを承諾します。

記入例 2

２００×年×月×日

本証明書の発行日

財団法人　日本環境協会
　エコマーク事務局長　殿

○　○株式会社　社 印
(角印)

証明書
発行者名

購買材料の評価に関する証明書

*（申込商品の製造会社）*は、認定基準 4-1.(1)、(2)、(3)、(4)、(5)および(6)について、下記の事項を実施していることを証明します。

記

a　認定基準 4-1.(1)、(2)、(3)、(4)、(5)および(6)に規定された事項に購買材料が適合することを確実にすること

b　購買材料供給者が弊社の要求に従って製品を供給する能力を判断の根拠として、供給者を評価し選定すること

c　選定、評価および再評価の基準を定めていること

以上

記入表 A

２００×年×月×日

△△株式会社
△△部　△△△△　殿

本証明書の発行日

○　○株式会社　社 印
(角印)

本証明書の宛先
エコマークの申込者が製造する場合：
（財）日本環境協会　エコマーク事務局長　宛

申込者と製造者が異なる場合：
申込者　宛

証明書
発行者名

塗料の芳香族炭化水素系溶剤・VOC 成分表

*（申込商品名）*は、芳香族炭化水素系溶剤、VOC 成分を最大で以下の量を処方構成成分として添加していることを証明します。

物質名		沸点	1 リットル中含有量 (g)	芳香族に該当	VOC に該当
1	(例)キシレン	144.4	0.88	○	○
2	(例) シクロヘキサノン	156	1.35		○
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

※VOC＝沸点範囲　23～260℃

(1)芳香族合計値	
(2)VOC 合計値	

記入例 3

２００×年×月×日

本証明書の発行日

△△株式会社
△△部　△△△△　殿

本証明書の宛先
エコマークの申込者が製造する場合：
（財）日本環境協会　エコマーク事務局長　宛

申込者と製造者が異なる場合：
申込者　宛

○　○株式会社　社 印
(角印)

証明書
発行者名

化学物質に関する証明書

*（申込商品名）*は、表 4 に示す化学物質について、下表の通り認定基準 4-1.(4)を満たすことを証明します。

物　質　名	添加有無
カドミウム	□添加なし ／ □あり
水銀	□添加なし ／ □あり
六価クロム	□添加なし ／ □あり
鉛	□添加なし ／ □あり
ヒ素	□添加なし ／ □あり
アンチモン	□添加なし ／ □あり
トリブチルスズ	□添加なし ／ □あり
トリフェニルスズ	□添加なし ／ □あり
アルキルフェノール	□添加なし ／ □あり
ノニルフェノール	□添加なし ／ □あり
4-オクチルフェノール	□添加なし ／ □あり
ビスフェノール A	□添加なし ／ □あり
フタル酸ブチルベンジル	□添加なし ／ □あり
フタル酸ジエチル	□添加なし ／ □あり
ホルムアルデヒド	□添加なし ／ □あり
トルエン	□添加なし ／ □あり
キシレン	□添加なし ／ □あり
エチルベンゼン	□添加なし ／ □あり
スチレン	□添加なし ／ □あり
フタル酸ジ-*n*-ブチル	□添加なし ／ □あり
テトラデカン	□添加なし ／ □あり
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	□添加なし ／ □あり
アセトアルデヒド	□添加なし ／ □あり

記入例 4

２００×年×月×日

本証明書の発行日

△△株式会社
△△部　△△△△　殿

本証明書の宛先
　エコマークの申込者が製造する場合：
　（財）日本環境協会　エコマーク事務局長　宛

　申込者と製造者が異なる場合：
　申込者　宛

○○株式会社
工場長　○○　○○　工場長印

証明書発行者名

適合証明書

*（申込商品名）*は、ハロゲン化炭化水素類として下表に掲げる特定フロン（CFC5 種）、その他 CFC、四塩化炭素、トリクロロエタンおよび代替フロン（ここでは HCFC をさす）の使用がないことを証明します。

特定フロン（CFC5種）	トリクロロフルオロメタン	代替フロン（HCFC）	クロロトリフルオロエタン
	ジクロロジフルオロメタン		ジクロロフルオロエタン
	トリクロロトリフルオロエタン		クロロジフルオロエタン
	ジクロロテトラフルオロエタン		クロロフルオロエタン
	クロロペンタフルオロエタン		ヘキサクロロフルオロプロパン
その他のCFC	クロロトリフルオロメタン		ペンタクロロジフルオロプロパン
	ペンタクロロフルオロエタン		テトラクロロトリフルオロプロパン
	テトラクロロジフルオロエタン		トリクロロテトラフルオロプロパン
	ヘプタクロロフルオロプロパン		ジクロロペンタフルオロプロパン
	ヘキサクロロジフルオロプロパン		クロロヘキサフルオロプロパン
	ペンタクロロトリフルオロプロパン		ペンタクロロフルオロプロパン
	テトラクロロテトラフルオロプロパン		テトラクロロジフルオロプロパン
	トリクロロペンタフルオロプロパン		トリクロロトリフルオロプロパン
	ジクロロヘキサフルオロプロパン クロロヘプタフルオロプロパン		ジクロロテトラフルオロプロパン
			クロロペンタフルオロプロパン
	四塩化炭素		テトラクロロフルオロプロパン
	1,1,1-トリクロロエタン		トリクロロジフルオロプロパン
代替フロン（HCFC）	ジクロロフルオロメタン		ジクロロトリフルオロプロパン
	クロロジフルオロメタン		クロロテトラフルオロプロパン
	クロロフルオロメタン		トリクロロフルオロプロパン
	テトラクロロフルオロエタン		ジクロロジフルオロプロパン
	トリクロロジフルオロエタン		クロロトリフルオロプロパン
	ジクロロトリフルオロエタン		ジクロロフルオロプロパン
	クロロテトラフルオロエタン		クロロジフルオロプロパン
	トリクロロフルオロエタン		クロロフルオロプロパン
	ジクロロジフルオロエタン		

発行者が工場長もしくは工場長の役職にあたるもしくは兼務していることを必ず明記してください。

記入例 5

２００×年×月×日

本証明書の発行日

△△株式会社
△△部　△△△△　殿

本証明書の宛先
　エコマークの申込者が製造する場合：
　（財）日本環境協会　エコマーク事務局長　宛

　申込者と製造者が異なる場合：
　申込者　宛

○　○株式会社　社 印 (角印)

証明書
発行者名

PRTR 法における第一種指定化学物質の使用に関する報告書

*（申込商品名）*は、「特定化学物質別の環境への排出量の把握等及び管理改善の促進に関する法律（PRTR 法）」に定める第一種指定化学物質のうち、下記の物質を処方構成成分として添加していることを報告します。

記

物　質　名

以上

記入例 6

２００×年×月×日

本証明書の発行日

△△株式会社
△△部　△△△△　殿

本証明書の宛先
　エコマークの申込者が製造する場合：
　（財）日本環境協会　エコマーク事務局長　宛

　申込者と製造者が異なる場合：
　申込者　宛

○○株式会社
工場長　○○　○○　工場長印

証明書発行者名

適合証明書

*（申込商品最終工程の製造会社）*は*（申込商品名）*の製造にあたって、下記のことに適合していることを証明します。

記

１．　製造工程において、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、有害物質の排出などについて、関連する環境法規および公害防止協定などを申込時より過去○○年間（※）遵守していること。

関連法規　例　大気汚染防止法
　　水質汚濁防止法
　　騒音規制法
　　振動規制法　　} 工場が該当する法律名を記載すること
　　悪臭防止法
　　○○県○○環境保全条例
　　○○市公害防止協定　　} 工場の立地する地域の条例や協定が存在する場合にはその名称を記載すること

２．　「毒物及び劇物取締法」、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」などの化学物質取扱に関する法律の規則を申込時より過去○○年間（※）遵守していること。

以上

（※）創業以来違反がないという内容でも結構です

発行者が工場長もしくは工場長の役職にあたるもしくは兼務していることを必ず明記してください。

記入例 7

２００×年×月×日

本証明書の発行日

△△株式会社
△△部　△△△△　殿

本証明書の宛先
　エコマークの申込者が製造する場合：
　（財）日本環境協会　エコマーク事務局長　宛

　申込者と製造者が異なる場合：
　申込者　宛

○　○株式会社　社 印
(角印)

証明書
発行者名

原料証明書

（廃材の発生元を詳しく）から発生した（廃材の材質）を（エコマーク商品製造者名）に供給していることを証明致します。

認定基準　「３．用語の定義」の再生材料のうち、ポストコンシューマ材料、プレコンシューマ材料のどちらにあたるのか、詳細に記述して下さい。

以上

記入例 8

２００×年×月×日

本証明書の発行日

△△株式会社
△△部　△△△△　殿

本証明書の宛先
　エコマークの申込者が製造する場合：
　（財）日本環境協会　エコマーク事務局長　宛

　申込者と製造者が異なる場合：
　申込者　宛

○○株式会社
工場長　○○　○○　工場長印

証明書発行者名

品質管理証明書

*（申込商品最終工程の製造会社）*は*（申込商品名）*の製造にあたり、別紙（該当 JIS、JASS などの品質試験結果、社内規格に基づいた性能証明書）の品質管理項目に基づいて、商品を管理し、品質管理基準に適合する商品のみを出荷することを証明します。

以上

発行者が工場長もしくは工場長の役職にあたるもしくは兼務していることを必ず明記してください。

記入例 9

２００×年×月×日

本証明書の発行日

△△株式会社
△△部　△△△△　殿

本証明書の宛先
　エコマークの申込者が製造する場合：
　（財）日本環境協会　エコマーク事務局長　宛

　申込者と製造者が異なる場合：
　申込者　宛

社 印
(角印)

○○株式会社

証明書
発行者名

粉体塗料の品質に関する証明書

*（申込商品名）*は、「合成樹脂粉体塗装製品の塗膜」JIS K 5981 に規定する塗膜として以下の評価項目の性能を満たすことを証明します。

種類	規格値	試験結果
熱硬化系粉体塗料	引っかき硬度　H4 以上 鉛筆引っかき値　B 以上	
	付着性　A2 以上 碁盤目試験評価点　4 以上	
	耐おもり落下性　G1 以上 デュポン色　500g30 ㎝以上	
熱可塑性粉体塗料	耐食性　S3 以上 240 時間以上	
	耐湿性　R3 以上 150 時間以上	
	耐おもり落下性　F2 以上 落球式試験　80 ㎝以上	

以上